

特例認定特定非営利活動法人まちづくりスポット大津
2023年度事業報告書



2023年度のふりかえり

2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、あためてきた事業をスタートする方や活動の始め方に関わる相談が多くあった。それを受け、自主事業では、活動を広げるための学びの場としてNPO基礎講座を異なるテーマで7回連続開催した。また、年度初めに日々の相談で多く寄せられる広報をテーマに講座を開催するなど、団体や活動に取り組む人が一歩前に進むための支援を行った。ハッシュタグ大津京シェアスペースの利用では、9月には過去最高の月間稼働率69%となり、高水準での利用が続いている。

さらに、まちスポ大津の事業を紹介するニュースレターを定期的に発行し、繋がりのある団体に取材を行い記事にまとめたニュースレター（ミニ版）を継続的に発行し、情報収集とともに発信強化に努めた。

なお、滋賀県条例指定による指定の申出を行い、指定特定非営利活動法人に指定された（2024年3月22日通知、4月1日施行）。

市民活動・NPO・コミュニティ・起業等まちづくり支援のための講座やイベントの開催に関する事業

(1) 地域の人が気軽に参加できる講座やイベントの開催

クミノであそぼう！

開催日：

2023年5月4日（木祝）、5日（金祝）

参加者数：47名

参加費：100円/人

滋賀県東近江市在住の井上慎也さんが発案した地域産材を使った積み木「クミノ」を使った遊び広場を運営。5月4日は10組31名、5月5日には7組16名が利用した。今年度は近隣で多世代が集えるカフェ「manma」を運営されている西田さんから木のボールプールを借り、クミノと一緒に設置。小さい子どもはボールプールで遊び、小学生はクミノで複雑なものを作るなど思い思いに過ごす様子が見られた。チラシを見て来られた方も多くあった。



～じぶんとたいせつなかぞくへ～まちスポ保健室

開催日：

2023年9月9日（土）

参加者数：96名

協力団体：

- ・bc-lifeピンクリボンセルフチェックキャラバン
- ・Birth For the Future@しが
- ・からだいちから廣田愛さん
- ・Likeトレーナー島田さん
- ・京都タオル帽子の会

9月9日救急の日、ランチ大津京で開催された“健康フェス”の連携事業として実施した。乳がん啓発活動や産前産後のママのおしゃべり会、ママと子どもの免疫アップ講座を開催されている方など、健康に関する活動をされている団体の協力を得て、展示やWS開催などの形で参加してもらった。参加された地域の方へはセルフケアの重要性を知ってもらい、家族の健康の大切さを知ってもらう機会となった。シェアスペースでの啓発活動以外に参加団体の交流会を実施した。団体からは、「初めての開催地での気づきや他団体の展示から学びがあった」「活動の目的が明確となり組織強化につながった」などの声があった。



(2) 社会課題、地域課題解決のために必要な講座やイベント

4周年事業 市民活動フォーラム2023「想いを受け入れ組織を育む～続く活動と組織の秘訣～」

共催：公益財団法人 淡海文化振興財団（淡海ネットワークセンター）

開催日：

2023年12月2日（土）

参加者数：33名

コーディネーター：

深川光耀さん

（花園大学社会福祉学部准教授）

事例発表：

久保寺容子さん

（公益財団法人江北図書館 館長）

細見侑亮さん

（NPO法人京都子どもセンター
青年部KAMONASU 代表）

4周年事業として、淡海ネットワークセンターと共催し「市民活動フォーラム2023」を開催した。企画検討から連携する中で、市民活動の継続・事業展開の工夫や秘訣を知り、各団体のパワーアップにつなげてもらいたいという思いから、「想いを受け入れ組織を育む～続く活動と組織の秘訣～」をテーマに開催した。チラシやSNSで広報を実施し、当日は20名の参加があった。第1部は、団体活動展示を募集し、展示交流・活動発表を行った。12団体の展示と、6団体が活動紹介発表し、自由に交流できる時間となった。第2部では、3団体の事例発表（1団体が都合により欠席）と、コーディネーター深川光耀さんによるクロストークを行った。まず、発表者の江北図書館 久保寺さん、NPO法人京都子どもセンター細見さんから、自団体の活動とともに、運営の工夫や、特徴、今後の課題について紹介いただいた。クロストークでは、深川さんから運営コアメンバーと他のスタッフとの連携をどう作っているか、活動を継続させる運営スタッフの関わり方について掘り下げて尋ねた。会場からも、付箋やペアコミュニケーションの手法を通じて質問をもらうなどした。アンケートでは、活動の参考になったという声を多くいただいた。

なお、クロストークの様子は、まちスポ大津ニュースレター「いろどり+（プラス）vol.23」で特集した。



フードドライブ

開催日:

2023年12月2日(土)～
12月16日(土)

参加者数:37名

今回4回目となるフードドライブ活動では、インスタントラーメンやレトルト食品、お米、ティッシュペーパー、洗剤、生理用品等たくさんの寄付をいただき、合計469点集まった。回覧板を見た地域の方やインスタグラム、ホームページを見てお持ちいただいた方等、たくさんの方に思いを寄せてもらうことができ、少しずつまちスポ大津で実施するフードドライブの認知度が上がっていることを実感した。

【寄付物届け先団体】

・(特活)こどもソーシャルワークセンター/(特活) CASN(カズン)/(特活)あめんぼ/(社福)滋賀県母子福祉のぞみ会/トーキョーコーヒー瀬田Tim/母子生活支援施設母と子の家しらゆり



寄付先団体情報交換会

開催日:

2023年12月19日(火)

参加者数:12名(8団体)

フードドライブ寄付物品をお渡しするタイミングで、団体のスタッフや社会福祉協議会の担当課の方に呼びかけ、情報交換会を行った。それぞれの団体に寄せられる相談や向き合っておられる課題について出し合う中で、個々の強みをいかしながら取り組めること、つながりあって一緒に取り組むことで生み出せる価値について深く考える時間となった。



【参加型アートイベント】毛糸ポンポンデコレーション2024

開催日:

【前プレ装飾】11月13日
(月)～12月26日(火)

【プレ装飾】2023年12月23日
(土)～

【イベント期間】2月1日(木)
～2月29日(木)

【装飾イベント】2月3日(土)

【ワークショップ】2月10日
(土)・17日(土)

参加者数:308人

協力:

【オーナーツリー】アスク保育園/NPO法人BRAH=art./この指とまれヤーンボミングの会/志賀☆はぴ(志賀小学校保護者

ブランチ大津京を訪れる方に温かみ届けたいと始まった、参加型アートイベント「ヤーンボミング」の活動。冬場、12月～2月の活動は3年目となった。11月には、滋賀短期大学附属高校生活デザインコース2年生33名を受け入れ、ヤーンボミング活動について説明し、装飾を作成してもらった。テーマ決めから材料調達・制作・装飾までを1日で実施、生徒が参加したにぎわいづくりの取り組みとなった。

2月のポンポン作成ワークショップ実施に向けて、12月末よりまちスポ大津前の木を装飾するプレ活動を実施。手書きによる看板を設置した。また、今年度初めての取り組みとして協力団体が1本の木の装飾を担当する「オーナーツリー」を企画、した。近隣地域のまちづくり協議会や保育園、そして関連した活動をしている団体に声をかけたところ7団体の協力を得ることができた。装飾はワークショップ参加者を含めた約200名、ポンポン作成ワークショップでは2日間で108人の参加があった。今年度は会場内に、社会福祉サービス事業所れもん会社の木工などの販売、生活介護事業者NPO法人BRAH=art.利用者による作品展示、将棋を孫に伝える会による将棋体験、万歳!!パペットイノ(2022年度まちスポ助成金採択団体)による歌の披露を行った他、キッズス

会) / だいらっこ夢プロジェクト (山中比叡平まちづくり協議会) / 万歳!!パペッティーノ

【ワークショップ出展協力】

NPO法人BRAH=art. / 社会福祉法人れもん会社 / 将棋を孫に伝える会 / 万歳!!パペッティーノ

ペースを設営し室内に入りやすい工夫をしたことで、さまざまな交流が生まれた。当日の様子は、地域情報誌チェキポンのウェブマガジンで取材され、ウェブサイト「チェキポス」に掲載された。記事を見た方を含め個人6名・6団体から毛糸やポンポンなどの装飾寄付をいただき、企画運営にも活用できた。

趣旨が解りやすく、毛糸の提供・作品制作・飾りつけなどで誰もが参加できるヤーンボミングは、人の輪を拡げ、交流の場として気楽に立ち寄れる「まちスポ大津」の発信に繋がっている。



親子で考える災害時の備え～防災手帳づくりワークショップ～

開催日:

2024年3月31日(日)

参加者数: 20名

(ワークショップ参加3組)

参加費: 無料

「ハッシュタグフェスタ春の文化祭」の開催と合わせ、防災に関する啓発活動を実施した。県や市から借りた防災啓発パネルの展示の他、個人で準備されている災害時非常持ち出しのリュックの実物展示、防災手帳づくりWSを行った。非常持ち出しリュックは中身をリストにして紹介し、ずっしりと重いリュックを実際に体験してもらった。防災手帳づくりWSには3家族の参加があった。家族がそろっているときに災害に遭うとは限らない、と様々な備えの視点を紹介したあと、いざというときに必要になる情報(家族の電話番号や避難場所、持病や常用薬について他)をまとめたミニノートを作成した。小学生も保護者も全員に必要な備えとして、全参加者にレクチャーし、作成してもらった。作業中にも、避難場所の確認や、災害伝言ダイヤルの体験など、日頃の備えの必要性を家族で確認しながら行えた。



2

市民活動・NPO・コミュニティ・起業等まちづくりの担い手を育成する人育ちに関わる事業

(1) 団体や活動に関わる人へのスキルアップ講座の実施

やってみようCanva！PC版

開催日：2023年4月20日（木）
参加者数：13名
参加費：500円
講師：奥村美佳さん
(Code for Kusatsu 副代表)

無料で使えるデザインアプリ「Canva」の使い方講座を実施した。昨年度3月にはスマホ・タブレットでの使用に限定して開催したが、今回はPC限定での開催とし、定期的な企画・発信をする中級者向けとして実施した。参加者からも広報ツールの講座はニーズが高く、ハッシュタグ大津京利用者が2名、中間支援組織2組織から4名、近隣のNPO法人から1名が参加した。講師から基本的な使い方を聞いたのち、それぞれが関連ある広報物を作ってみながら質疑を繰り返して習得していった。



クミノマスターになろう！きぐみの積み木KUMINO講座

共催：マザーレイクゴールズ（MLGs）推進委員会
協力：株式会社KUMINO

開催日：2023年11月24日（金）
参加者数：10名
参加費：500円
講師：井上慎也さん
(株式会社KUMINO代表取締役、箕川未来協議会副代表)

木組みの仕組みを使って遊ぶ積み木「KUMINO（クミノ）」について、考案者の井上さんを招き、開発の背景や遊び方のコツなどを聞いた。近隣のまちづくり協議会スタッフや、クミノひろば開催経験ある方、関心ある方が参加した他、当団体スタッフもクミノひろば開催のための学習機会として参加した。井上さんからは、木材の価値を高め、木に触れる機会を増やす素材として、新しい構造を持った積み木を考案したこと、大工仕事の井桁構造という文化的な要素を含む形であることなど詳しく考案の背景を聞いた。また事業所所在地が山間の過疎地域であり、地域の持続性にも取り組まれていることを紹介された。その後は、様々な遊び方ができるクミノについて実践を交えて体験をした。

今回はMLGsの連携ワークショップとしても実施。学生ライターによる取材レポートもMLGsWEBに掲載された。



NPO基礎講座

① いまさら聞けないNPOのこと

開催日:

2023年4月25日(火)

参加者数:19名

参加費:300円

講師:阿部圭宏(まちづくりスポット大津代表理事/しがNPOセンター代表理事)

NPO法人スタッフや中間支援組織スタッフ向けの連続講座として今年度改めて基礎講座を企画した。スタッフ研修を兼ねてまちづくりスポット大津のスタッフも参加した。各地の中間支援5団体、2自治体より担当職員、個人として関心を持つ参加者が集まった。講師の阿部からは「公共とは何か?」「日本において市民社会セクターがどうとらえられてきたか」「非営利組織とは?」など、「NPO法人」の活動背景となる意義など、そもそもの議論を解説した。参加者からは、根本理解につながったという感想があった。



② 滋賀のNPO史で振り返る非営利セクターの役割

開催日:

2023年5月16日(火)

参加者数:10名

参加費:300円

講師:阿部圭宏(まちづくりスポット大津代表理事/しがNPOセンター代表理事)

NPO法人スタッフや中間支援組織スタッフ向けの連続講座として実施。まちづくりスポット大津のスタッフも参加し、各地の中間支援4団体、1自治体より担当職員、個人として関心を持つ方が集まった。講師からは、自らが寄稿した内容なども含む多種類の市民活動に関する文献が資料として提供され、県域中間支援組織である淡海ネットワークセンター設立経緯から、県内各分野での市民活動の展開について等を、県政上の転機・県政策を踏まえて解説があった。各地の地域組織・中間支援の発展、助成金の制度などについても情報提供された。

③ 地域コミュニティと地域自治組織

開催日:

2023年6月28日(水)

参加者数:14名

参加費:300円

講師:仲野優子さん(しがNPOセンター専務理事・NPO法人NPO政策研究所理事) / 坂下靖子さん(NPO法人コミュニティネットワーク高島・たかしま市民協働交流センター事務局長)

地域を支える組織である自治会や地域自治組織について、基本的な背景から、先進事例・展開について聞いた。まちづくりスポット大津のスタッフ・中間支援2団体、行政・市議会議員・まち協関係者などが参加した。高島市の中間支援組織、たかしま市民協働交流センターから事務局長の坂下さんをゲストに迎え、設立2年目の高島市内のまち協の様子と中間支援組織としての関わり方などの紹介があった。後半には各地域の事例を参加者同士で共有し、地域それぞれの状況に合わせて組織の特性が違っていることなどを確認できた。



④ 考えてみよう協働のこと

開催日:

2023年7月13日(木)

参加者数:11名

参加費:300円

講師:阿部圭宏(まちづくりスポット大津代表理事/しがNPOセンター代表理事)

NPO法人スタッフや中間支援組織スタッフ向けの連続講座の4回目。今回は行政と市民セクターの「協働」について基礎を知る講座を行った。各地の中間支援2団体、企業、個人が参加し、まちづくりスポット大津スタッフも研修として参加した。講師からは、「協働」という概念の成り立ちから、行政と市民セクターが協働する場合の契約やルールについて聞いた。途中、行政やNPOに関するイメージを共有するワークを実施。性格の違う組織体同士の連携する仕掛けについて学んだ。



⑤助成金申請と採択後にすること

開催日:

2023年9月15日(金)

参加者数:6名

参加費:300円

講師:遠藤恵子(まちづくりスポット大津理事/認定NPO法人まちづくりネット東近江理事)

NPO法人スタッフや中間支援組織スタッフ向けの連続講座として企画した「NPO基礎講座」、今回からは団体の活動に活かせる実践的な内容の講座となった。講師から団体の活動資金の中でも特に助成金についてのノウハウを聞いた。参加者は地域の中間支援組織から1名、まちづくりスポット大津助成金受託者の参加の2名と少数での開催となった。まちづくりスポット大津のスタッフも参加し、改めて助成金の申請から会計書類のまとめ方などを体系的に聞いた。

⑥決まらない会議から抜け出そう

開催日:

2023年10月16日(月)

参加者数:10名

参加費:300円

講師:西川実佐子(認定NPO法人しがNPOセンター)

連続講座6回目は、団体運営に必要な会議の進行について改めて学ぶ機会として実施。しがNPOセンターから西川さんに講師を依頼した。中間支援組織から2名の他、まち協や地域活動を行う方が参加した。スタッフも研修として参加し、健全な会議の場づくりについて改めて学んだ。講座では、模擬会議を実施、ペアワークや板書を取り入れて議論しやすく、納得感ある合意形成の方法を体験した。



⑦どうする?ボランティア受入れ

開催日:

2023年11月17日(金)

参加者数:11名

参加費:300円

講師:白井恭子(NPO法人まちづくりスポット大津コーディネーター)

4月から連続で開催してきた「NPO基礎講座」、7回目は、団体の活動に活かせる実践的な内容として、ボランティア受入れのノウハウについて聞いた。講師は当団体コーディネーターであり、ボランティアコーディネーターである白井が務めた。参加者は他所の中間支援組織からと、近隣のまちづくり協議会スタッフが参加。また事業主催者でボランティア募集の必要性がある方も参加した。講座では、ボランティアに関する悩みを共有し合ったあと、ボランティアとの対等な関わりや、受け入れ側として必要な対応などについて講義を受けた。参加者全体で悩みやアイデアを共有したことで、ノウハウ共有ができ、参加者の理解も深まった。



(2) 立ち上げ支援に関わる助成金事業

「地域で暮らす人の心地よい居場所をつくる活動」、「多様な人の共感・参加を促す活動」をする団体・個人を応援することを目的に、「“彩りはぐくむ”まちづくりスポット大津助成金事業」を実施した。対象者を「団体及び助成期間中に団体化を目指す個人」とし、団体で活動していこうとする人に向けた助成金とした。

【2023年度助成金採択団体】4団体(うち1団体採択後辞退) 助成金額合計:15万円

団体名	申請事業名	事業概要	金額
OFFICE和つむぎ (トーキョーコーヒー 大津瀬田TIM)	道を生み出すって面白い!! ~多様な学びを知る~	旗づくりやつくった旗を用いた旗とり競争を通して参加者が打ち解ける場を持ち、その後お話し会を開催する。教育を変えたいという思いや学びの多様性について、日常で抱えている不安などを吐き出すことができる場と仲間づくりについて体感する。	5万円

<p>スパークルキッズ 滋賀</p>	<p>スパークルキッズ滋賀</p>	<p>子どもの個性と感情を大切に、ありのままに られる場所を提供する。遊びを通して体幹やバ ランスカ・リズム感などあらゆる動きを習得し、 どんなスポーツにも生かせる体の土台をはぐく む。また、フラッシュカードを大きな声で読んだり 発表をすることで、コミュニケーション能力を高 め心の土台を育む。</p>	<p>5万円</p>
<p>こどもの家 GALILEE (ガレリー)</p>	<p>親子が輝く英語deモンテッソ リ</p>	<p>地域の子もたちやその家族に対して、外国語 教育や子育て支援事業を行う。知育教育として ではなく、本来のモンテッソーリが目指す、個々 の持っている良さを認め合い、家族的な雰囲気 で成長の過程を見守り励ましあう学びの環境 を目指す。</p>	<p>5万円</p>

彩りはぐくむ助成事業採択団体交流会

開催日: 2023年11月17日(金)
参加者数: 13名

第一部では採択団体から①活動の内容・きっかけ・背景、②活動を通じて保護者に伝えたいこと、③子どもに伝えたいことを発表してもらい、質疑により理解を深めた。第二部のグループワークでは、3団体とも子どもの育ちに関わる活動につき「子どもをとりまく環境のいまむかし」というテーマでグループワークを行い、他者の考え方を知る学びの時間とした。第三部では採択団体からここまでの数値結果と課題を共有してもらい、課題解決の方策について話し合った。

彩りはぐくむ助成事業採択団体報告会

開催日: 2024年2月29日(木)
参加者数: 12名

助成金採択団体から活動内容と成果を聞いた後、審査委員と他の採択団体から質問を出し合った。また、森川稔審査委員長から「地域とつながる活動について」をテーマに話題提供いただき、今後の活動展開について意見交換を行った。



3

市民活動・NPO・コミュニティの運営や起業等に関わる相談、コンサルティング

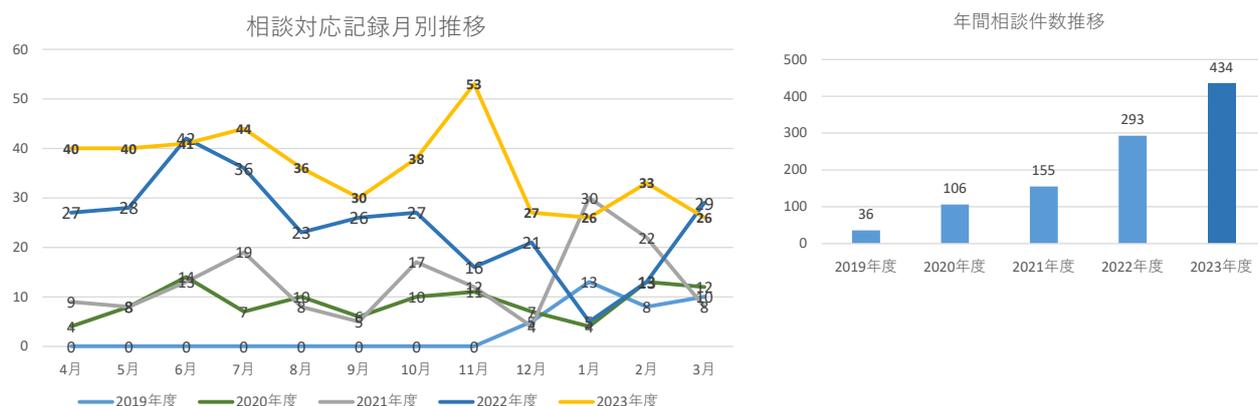
(1) 相談対応

市民活動や起業に関わる相談対応を随時行った。年度初めは例年の傾向として相談が多く寄せられている。相談内容は、事業の始め方や集客について、シェアスペースの使い方についてなどがあつた。また昨年度から高校・大学の授業での受け入れ相談が寄せられ、対応している。

2021年5月から開始した予約制個別相談を有料(500円)で行う「わかばサロン」は、昨年度に比べ年度当初から相談が多く寄せられ、15件の相談があつた。

相談内容は、事業をはじめるにあたって、何からスタートしたらよいか等の事業運営相談、イベントを運営するにあたってのボランティア募集相談、授業の一環としての受け入れ、施設の使い方・企画の内容検討など多岐にわたる。それぞれについて、アドバイザーであるしがNPOセンタースタッフとともに対応した。

■相談対応件数推移



(2) コーディネート対応

相談対応の成果として、次の一步につながるアドバイスや連携機関へのコーディネートを行った。

■相談対応の事例

①	<p>Q: 現在行っている事業とわけて、新たにNPO法人を設立し子育て中のお母さんと子どもを支援するための事業をしていきたい。広く賛同者を集め寄付募集もしていきたいと思っている。法人格を取得するメリットやデメリット、手続きについて教えてほしい。</p> <p>A: NPO法人を取得するメリットデメリット、他の法人格との違いを説明。後日、法人格取得のため定款作成の相談に来られる。作成中の定款と一緒に確認しながら不明点を説明し、気を付けなければならない部分など、言葉の意味を捕捉しながらお伝えする。また、申請書類の確認を行い、無事法人格を取得された。</p>
②	<p>Q: 地域の子どもや親子のために子ども食堂を始めようと思っている。どういう順で何を進めていったらいいか。</p> <p>A: 実施主体や意図、回数についてヒアリングした。当面はすでに実施している事業と連動して開催してみ、運営方法などの模索をするとのこと。定着するまで検討しながら、固定開催を目指すことをすすめる。その他助成金申請を想定される場合の、申請主体、活動内容の中身などについて、より具体的に整理された方がよいと伝える。</p>
③	<p>Q: ブランチ大津京近くのマンション入居者交流の企画を行っている。次回交流会のための下見を行いたい。また、今後に向けて親子を対象にした事業をしている方を探しているの、講師候補があれば知りたい。</p> <p>A: 下見に対応後、教室などで講師経験が豊富な利用者を中心にお伝えする。まちスポの防災企画についても関心を持たれたので講座等も可能とお伝えした。後日、紹介した講師に依頼したと連絡があった。</p>
④	<p>Q: 障害者支援とアート活動をしている団体から、展示企画で制作した利用者の作品を、別の場所でも展示する機会をつくりたいと相談を受ける。</p> <p>A: ブランチ大津京の芝生広場によく合う作品だったため、管理事務所に作品を展示できないか相談する。安全面に配慮した置き方を検討し、毛糸ポンポンデコレーションのワークショップ日とハッシュタグフェスタ(ブランチ大津京主催イベント)の日に作品を展示することになり、多くの人の目に触れることができた。</p>



(3) 講師、ファシリテーターなどの派遣

これまでの活動実績から、連携や講師派遣の相談を受け、各スタッフが対応した。また地域の高校、大学からの受け入れ依頼に対応した。

■講師派遣

日時	主催者	内容	担当
2023年7月28日(金)、8月19日(土)、12月8日(金)、2024年2月16日(金)	志津まちづくり協議会(草津市)	「志津を楽しくする100のプロジェクト」ファシリテーターとして進行	北井
2023年9月28日(木)	一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク	「GPプラン滋賀 2023年度支援プログラム グリーン購入実践講座」事例紹介	北井
2023年10月27日(金)	社会福祉法人野洲市社会福祉協議会	「知っておきたいボランティアのツボ! ~ボランティアを始めてみませんか?~」講師	白井
2023年11月23日(木)	社会福祉法人竜王町社会福祉協議会	「竜王町社会福祉大会シンポジウム」ファシリテーターとして進行	北井
2024年3月8日(金)、3月14日(木)	レイカディア大学草津校、米原校	「覗いてみようボランティア活動」講師	白井

■取材対応

日時	依頼者	内容	担当
2024年1月16日(火)	女性の起業を応援する会	「大津で活躍する女性のロールモデル」インタビュー対応	白井

■教育機関からの受け入れ依頼

日時	依頼者	内容	参加人数
2023年4月24日(月)、4月25日(火)、5月30日(火)、6月6日(火)	滋賀短期大学附属高校 スポーツ健康コース 2年生	まちづくりスポット大津の事業紹介	40名
2023年5月13日(土)	立命館大学産業社会学部 ソーシャルデザインプログラム受講生	まちづくりスポット大津の事業紹介、グループワーク	2名
2023年11月13日(水)	滋賀短期大学附属高校 生活デザインコース 2年生	まちスポ大津主催の毛糸ポンポンデコレーションプレ装飾として、編み物やかぎ針編みを使った装飾作成をグループで実践し、ランチ大津京の木々を飾り付ける。	34名
2024年2月1日(木)、2月2日(金)	大津商業高校 1年生	「地域を知る～課題と魅力を発見～」フィールドワーク受け入れ	8名

4

さまざまな団体や個人が交流でき、ネットワーキングを広げるための事業

あつまれ!!ランチキッズ探検隊vol.6

【協力店舗】 マックスバリュ・Flower produce ichica・Whip Whip・チャーリーディーエス・
おうちづくり相談室・ユニクロ・ジーユー・ソフトバンク・JINS・エコイト・
クラウンカー&ケバブ・ロンフードダイニング・ちゃんぼん亭総本家・SG-PARK・管理事務所

開催日:

2023年8月24日(木)

共催:ランチ大津京

参加者数:68名

参加費:300円

ランチ大津京の店舗で「その店舗ならではの子ども目線での体験」を子ども達に
おけて提供する企画。2021年度のコロナ禍中の中止もあり、通算で5回目の開催
となった。今回は、15店舗の協力を得て、23プログラムを実施した。昨年度より引き
続き、学生ボランティアも募集し、2大学より11名の協力があった。

新規参加店は3店舗であった。それぞれにまちづくりスポット大津スタッフと相談しな
がら、専門性を生かした体験プログラムを実施できた。店舗の対応も充実しており、
参加者の満足度も非常に高くなっている。保護者アンケートの声では、「お店の人と
じっくり話せた」「なじみのない店にもご縁ができた」という感想の他、ランチキッ
ズ探検隊を通じてランチ大津京のイメージがよい方に変化したとの回答が70%
以上となった。「子どもの成長を見守ってくれているみたい」「住民と密接」「身近に
感じられた」という前向きな声を多くいただいた。



■他団体との連携協力

- 2023年11月9日(木) まちのコイン交流会運営協力(企画検討と告知支援)
- 2024年3月3日(日) ランチ大津京健康フェア出店連携協力(2団体の出展調整)
- 2024年3月31日(日) ハッシュタグフェスタ開催協力(団体への実施案内等)

5 市民活動・NPO・コミュニティ・起業等まちづくりに関わる 情報収集、発信

(1) ホームページ等SNSを通じた情報発信

まちづくりスポット大津のホームページに活動情報を掲載することと合わせ、FacebookやInstagramで積極的に情報発信を行った。

シェアスペースを利用される方からのフォロー等があり、フォロワー数は1,057人となった(2024年3月末)。

(2) ニュースレターの発行

ニュースレター『いろどり+ (プラス)』vol.16~vol.25を発行し、会員・賛助会員の他、県内の中間支援組織、全国のまちづくりスポット等に送付した。まちスポ大津の事業報告や助成団体の紹介、利用者に対するインタビュー記事等の内容で構成し、発行のタイミングに合わせた募集・告知なども掲載した。

また、『いろどり+ (プラス) mini』として、日頃から関係のある団体やスタッフが今聞きたい人にインタビューをした取材記事を2ヶ月に1回程度発行した。取材先団体からは、「団体のことを多くの方に知ってもらう機会となり嬉しい」という声がある一方、取材を通してまちスポ大津の取り組みを知ってもらう機会にもなった。



■ 「いろどり+ (プラス) mini」の取材先一覧

①	4月	vol.16	志津南環境ボランティアの会
②	6月	vol.17	NPO法人リバティー・ウィメンズハウス・おりーぶ
③	8月	vol.19	bc-lifeセルフチェックキャラバン隊
④	10月	vol.20	NPO法人京都子どもセンター
⑤	12月	vol.22	スポーツトレーナー三矢直人さん
⑥	3月	vol.24	フリースクール 香こち-kokochi-

(3) 中間支援組織との連携、情報交換

■ 滋賀県市民活動センター意見交換会2023年度開催実績

滋賀県内の市民活動団体の動きや相談傾向等の情報交換、その時々テーマに沿った意見交換を行うことを目的として開催している「滋賀県市民活動センター意見交換会(事務局:淡海ネットワークセンター)」に、今年度は世話人として参加し、まちスポ大津は、第3回の意見交換会の運営を行った。

- ・ 第1回 2023年6月20日(火) 場所: ピアザ淡海(県民交流センター)
- ・ 第2回 2023年10月17日(火) 場所: 今津東コミュニティセンター
- ・ 第3回 2024年2月16日(金) 場所: まちづくりスポット大津

内容: 第3回は、中間支援組織に必要な相談業務について考えることをテーマにおいた。それぞれの中間支援組織に寄せられる相談事例をもとに、改めて相談対応に必要な考え方や姿勢、相談を受ける時のポイントについて講師の話からヒントを受けて考える機会となった。

講師: 永井美佳さん(社福)大阪ボランティア協会事務局長

参加者: 21名



■全国まちスポ交流会

“まちづくりスポット”のネットワークの一員として、全国各地にある「まちづくりスポット」との連携を深め、活動の情報交換を目的として実施される「全国まちスポ交流会」へ参加した。

- ・2024年1月18日（木）～19日（金） 場所：ハッシュタグ岡山 スタッフ3名、理事1名参加

6 まちづくりの拠点であるハッシュタグ大津京の運営

(1) ハッシュタグ大津京 シェアスペースの運営と利用促進

大和リース株式会社から管理運営委託を受け、拠点施設「ハッシュタグ大津京」のシェアスペース（貸しスペース）・シェアオフィス（会員制共有オフィス）の運営を行った。シェアスペースについては、4月以降利用が伸び続け、9月の稼働率は過去最高の69%、2023年度の平均稼働率は58.7%となった。また、9月には開館以来の累計来場者数が5万人を超え、3月には6万人に達した。

利用内容は、親子リトミックや大人のピアノ教室、ネイルサロン、マルシェの開催等多様である。また、夜間時間帯の定期利用では、ダンス教室や子どもの合唱教室で月～金曜日まで利用があった。

■月別来館者推移

※投票所として利用された月は、来館者2,500人を超える
投票所利用実績：
2023年度 4月・1月



■年間来館者数推移



なお、年間来館者1万人は、2023年8月下旬に到達（昨年は9月中旬、一昨年は2月に達成）。2022年7月の選挙以来、選挙投票所として稼働しており、来館者数が大幅に増加している。今年度は4月に統一地方選（4月9

日県議選・4月23日市議選)が行われ、1月には市長選挙と3回の投票所稼働となった。

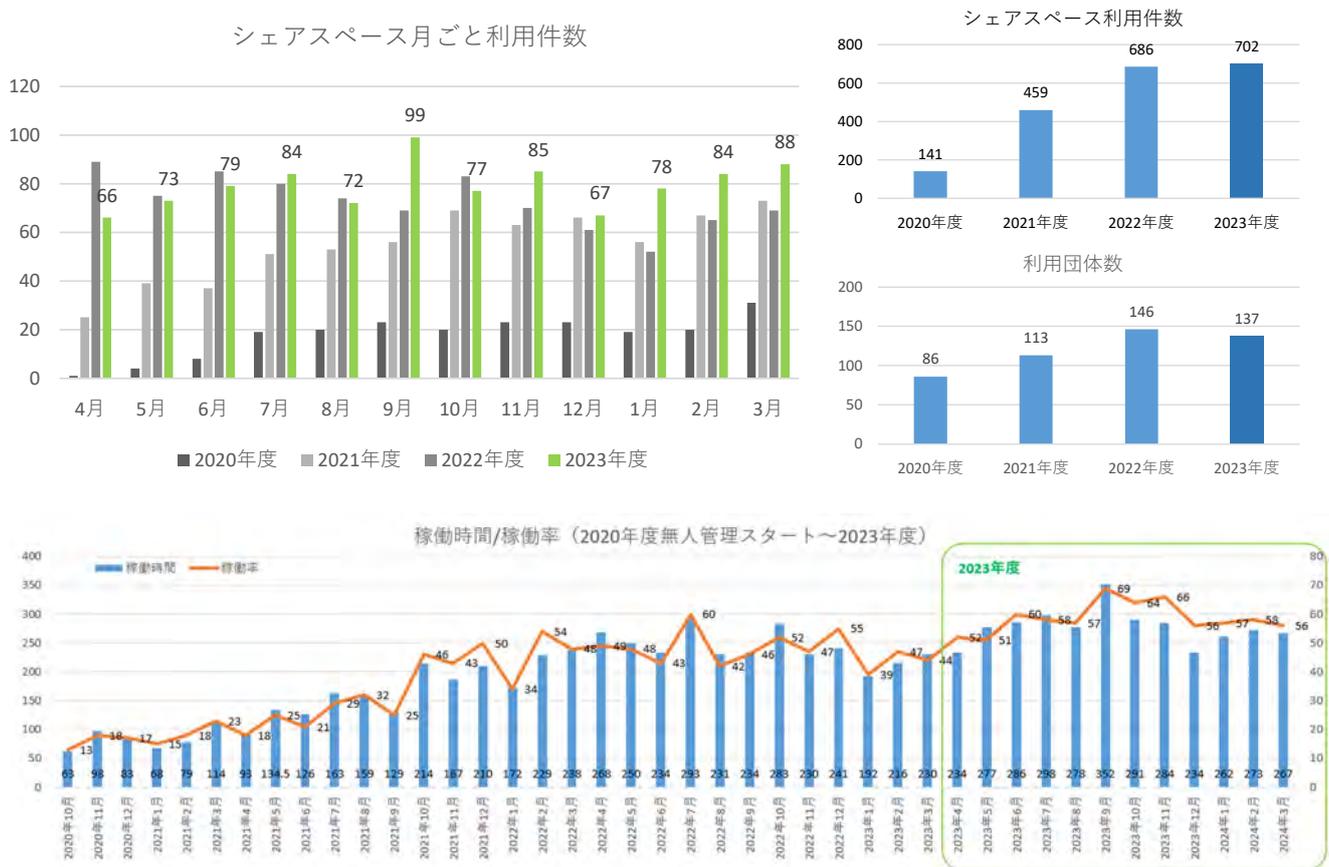
様々な事業者による週末の複数日予約も増加傾向にあり、稼働率上昇につながっている。

施設利用は大和リース株式会社が管理するハッシュタグ大津京ウェブサイトで会員登録を行い、貸し室の申し込みを行うシステムとなっている。2023年度中には103件の登録があった。なお、10月1日以降新システムでの運用となり、予約解禁日の変更、複数の一括予約などが可能となった。新年度からの料金見直しについても検討中である。

■ハッシュタグサイト会員登録数推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
2019	—	—	—	—	—	—	—	9	26	17	8	4	64
2020	4	2	2	6	8	10	5	4	11	8	7	10	77
2021	10	12	9	8	7	7	9	13	6	5	7	9	102
2022	6	8	11	9	9	9	9	5	8	6	10	9	99
2023	6	12	13	9	10	9	7	10	4	6	5	12	103
	全体計												988

■シェアスペースの利用状況データ（利用件数・利用団体数・稼働率と稼働時間）



シェアスペース利用者の情報発信にも適宜サポートを行っており、イベント開催情報のハッシュタグ大津京サイトへの掲載とともに館内のサイネージにて情報発信し、来館者への周知を行った。その他、ランチ大津京館内へのチラシ設置や広報おおつの活用など、様々なツールを案内している。9月より開設されたハッシュタグ大津京LINE公式アカウント(管理者:ランチ大津京管理事務所)によって、従来から実施していた貸館利用者への集客・広報支援サポート(館内チラシ配架および配布・館内掲示のイベントインフォメーションポスターへの掲載依頼・ブ

ランチ大津京公式Instagramのストーリーズでの共有・ブランチ大津京サイトのTopic(イベント紹介)欄への掲載依頼・館内放送のそれぞれの依頼をとりまとめ、管理事務所へ申請する)は、ブランチ大津京管理事務所が一括して管理することとなった。

(2) ハッシュタグ大津京 シェアオフィスの管理運営と交流促進

ハッシュタグ大津京のシェアオフィスは10ブースあり、入れ替わりはあるものの、空きの順番待ちをされる方もおられ、2022年12月以降は満席となっている。シェアオフィス利用者とは、日々の事務連絡以外でも、事業内容や機器の操作等で相談を受けることも多く、日常的なコミュニケーションをとり、関係を構築している。

6月に開催したハッシュタグ大津京交流会では、普段シェアスペースを利用している方やこれから利用したいと思っている方が、それぞれの活動や思いを共有する場となり、交流が深まった。



ハッシュタグ大津京交流会

開催日:

2023年6月19日(月)

参加者数:40名

参加費:無料

昨年度に続き第2回のハッシュタグ交流会を行った。参加者はシェアオフィス会員から5名、シェアスペース利用登録者から26名、大和リース3名、まちスポ6名の総勢40名による開催となった。120分間存分に交流してもらえようと講義などの座学は行わず、グループをシャッフルして自己紹介ワークを行うなど、全員が知り合える趣向を凝らした。参加者の職種はマルシェ主催者やコンサルタント、デザイナー、士業などバラエティに富んでおり、登録後まだ利用したことがない方の参加も数名あった。この機会にたくさんの新しいつながりが生まれ、終了後のアンケートには次回を期待する声が多数寄せられた。

■シェアオフィスご利用 2024年 継続利用数：9組／新規利用数：1組

7

その他の関連事業

(1) 近江神宮外苑公園(ブランチパーク)グラウンドの利用受付

大和リース株式会社が指定管理者として運営を行っている近江神宮外苑公園について、有料施設の利用受付対応を受託し、日々の運営を行った。

業務内容は、新規利用者の受付とシステム登録、電話での質問等への対応、利用予約・キャンセルへの対応、利用料金の徴収などである。グラウンド利用は徐々に認知が高まり、週末はサッカースクールやかけっこ教室、スポーツイベント等の利用でにぎわっている。



■2023年度実績

新規登録者	9名 (法人含む)
利用者数	9名
利用予約件数	のべ160件

(2) その他の受託事業・実施事業

中間支援業務の一環で以下の事業に受託や研修の一部として参加した。

■活動実績

- 協働のまちづくり推進支援業務 (草津市)
受託者：認定特定非営利活動法人しがNPOセンター
内容：ラウンドテーブルの実施、検討に関する業務および、事業進捗会議への参加
- 夏原グラント (滋賀・京都の環境保全活動への助成金/公益財団法人平和堂財団)
事務局：認定特定非営利活動法人しがNPOセンター
内容：説明会への参加や、事業進捗の確認等へ参加。今年度助成団体の訪問と取材記事の作成、昨年度の事業報告・次年度の要項作成など。
- 協働で進める子ども・若者まんなか活動助成事業運営サポート業務 (滋賀県)
滋賀県では、子どもの育ちに資する居場所づくり活動や若者が主体的に行う地域活動に取り組むNPO等への支援を行い、社会全体で子ども・若者に対する支援の機運醸成に向けた取り組みを進めるための支援を行うことになった。
認定特定非営利活動法人しがNPOセンターが業務委託者となり、複数の中間支援団体が協力団体として採択団体の伴走支援を担った。まちづくりスポット大津では、2団体のサポートを担当した。
受託者：認定特定非営利活動法人しがNPOセンター
支援団体：
 - ・フリースクールシャローム学園 (10月～2月) サポート対応：18回
 - ・逢坂Smiledoor子ども食堂 (12月～2月) サポート対応：13回内容：それぞれへの団体への訪問、取材、電話、メールで相談を行う。その他、支援者連絡会議2回、採択団体交流会2回、実績報告書書き方講座1回、実績報告会2回参加。

(3) 委員会等への派遣について

スタッフが依頼を受けて以下の委員会へ参加している。

■スタッフの委員委嘱等

- 大津市ボランティアセンター運営委員会委員（社会福祉法人大津市社会福祉協議会）
委嘱期間：2023年11月29日～2025年11月28日 担当者：白井
- マザーレイクゴールズ案内人幹事会（滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課）
委嘱期間：2023年4月1日～2024年3月31日 担当者：北井
- 滋賀県デジタル社会推進懇話会委員（滋賀県総合企画部DX推進課）
委嘱期間：2022年5月10日～2025年3月31日 担当者：北井

8

NPO法人まちづくりスポット大津組織運営

(1) 会員、ボランティア数

- 正会員：14人
- 賛助会員：4人、5団体
- まちスポメンバーズ：21人
- ボランティア：のべ83人

(2) 理事会の開催について

法人事業や予算の検討、規程に関する協議のため理事会を開催した。

■2023年度理事会開催実績

- 第8回 2023年5月31日（水） 場所：まちづくりスポット大津
- 第9回 2023年11月6日（月） 場所：まちづくりスポット大津
- 第10回 2024年3月28日（木） 場所：まちづくりスポット大津

(3) 総会の開催について

法人の事業運営のため、総会を開催した。

■2023年度総会開催実績

- 第3回通常総会 2023年5月31日（水） 場所：まちづくりスポット大津